

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【公開番号】特開2004-118191(P2004-118191A)

【公開日】平成16年4月15日(2004.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2004-015

【出願番号】特願2003-326786(P2003-326786)

【国際特許分類】

G 09 F 9/00 (2006.01)

H 04 N 5/64 (2006.01)

【F I】

G 09 F 9/00 3 5 1

G 09 F 9/00 3 1 2

H 04 N 5/64 5 0 1 Z

H 04 N 5/64 5 8 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月19日(2006.7.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1スタンドと、

該第1スタンドに着脱可能に接続される第2スタンドと、

前記第1スタンドが前記第2スタンドに接続された状態で前記第2スタンドにより支持されるか、又は直接前記第1スタンドにより支持されるディスプレイ本体と
を備えることを特徴とするフラットディスプレイ。

【請求項2】

前記第1スタンドは前記ディスプレイ本体に蝶着されていることを特徴とする請求項1
に記載のフラットディスプレイ。

【請求項3】

前記第2スタンドは平坦な底面を有していることを特徴とする請求項1に記載のフラッ
トディスプレイ。

【請求項4】

前記第2スタンドは中空であり、前記第1スタンドと前記第2スタンドとが接続される
とき前記第1スタンドを収納すべくなしてあることを特徴とする請求項1に記載のフラッ
トディスプレイ。

【請求項5】

前記第2スタンドは、前記第2スタンド内へ挿入される前記第1スタンドを案内するレ
ールを内部に有することを特徴とする請求項4に記載のフラットディスプレイ。

【請求項6】

前記第1スタンドが前記第2スタンド内に収納されているとき前記第1スタンドを押圧
すべく前記第2スタンド内に配置されたバネを更に備えることを特徴とする請求項4に記
載のフラットディスプレイ。

【請求項7】

前記第1スタンドは穴部を形成しており、前記第2スタンドは前記第1スタンドと前記

第2スタンドとが接続されるとき前記穴部に係合する係合部を有することを特徴とする請求項4に記載のフラットディスプレイ。

【請求項8】

前記第2スタンドは更にボタンを有しており、前記第2スタンドを前記第1スタンドから取り外す際に該ボタンを押圧することによって前記係合部を前記穴部から解放すべくしてあることを特徴とする請求項7に記載のフラットディスプレイ。

【請求項9】

本体と、

該本体に接続される第1スタンドと、

該第1スタンドと接続するときに前記第1スタンドを収納すべく中空となっている第2スタンドと

を備え、

前記本体は、前記第1スタンドが前記第2スタンドに接続された状態で前記第2スタンドにより支持されるか、又は前記第1スタンドが前記第2スタンドから離脱した状態で前記第1スタンドによってのみ支持される構成としてあることを特徴とするフラットディスプレイ。

【請求項10】

前記第1スタンドは前記ディスプレイ本体に蝶着されていることを特徴とする請求項9に記載のフラットディスプレイ。

【請求項11】

前記本体が前記第2スタンドにより支持されるときに前記本体が安定するように、前記第2スタンドは平坦な底面を有していることを特徴とする請求項9に記載のフラットディスプレイ。

【請求項12】

前記第2スタンドは、前記第2スタンド内へ挿入される前記第1スタンドを案内するレールを内部に有することを特徴とする請求項9に記載のフラットディスプレイ。

【請求項13】

前記第1スタンドが前記第2スタンド内に収納されているとき前記第1スタンドを押圧すべく前記第2スタンド内に配置されたバネを更に備えることを特徴とする請求項9に記載のフラットディスプレイ。

【請求項14】

前記第1スタンドは穴部を形成しており、前記第2スタンドは前記第1スタンドと前記第2スタンドとが接続されるときに前記穴部に係合する係合部を有することを特徴とする請求項9に記載のフラットディスプレイ。

【請求項15】

前記第2スタンドは更にボタンを有しており、前記第2スタンドを前記第1スタンドから取り外す際に該ボタンを押圧することによって前記係合部を前記穴部から解放すべくしてあることを特徴とする請求項14に記載のフラットディスプレイ。